



滝川市史

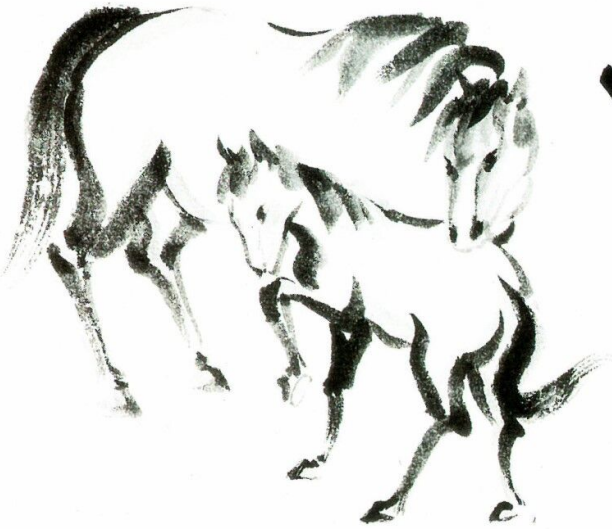
続
卷



飛翔

滝川市長

吉岡清栄



滝川市長 吉岡 清栄



滝川市長 吉岡 清栄

序

「温古知新」の言葉は古くて常に新しい感覚で示唆に富んだ教えである。開基百年を迎えた滝川は、この大きな節目の年を最も意義ある年と定めて、記念式典を始め各種の記念事業を行い、今日の繁栄を祝福するとともに、滝川一世紀の歩みを評価反省して、更に先達が汗水流してのご苦勞を謝し、この功を讃えて、滝川二世紀に飛翔する決意を改めて誓いあったのであった。

さて、開基百年を迎えた滝川の史実は、昭和十五年の開町五十周年に発刊の滝川町史、開基七十周年に発刊された滝川市史など数多いが、特に昭和五十三年の滝川市開基八十八年（米寿）市制施行二十年の記念行事の一環として発刊を計画し、昭和五十六年に上梓した滝川市史（上・下巻）に余すところなく、歴史に止めるべきことは編集されている。

ここに百年の記念する年に当たり、前巻以降のものと新たな史実等を纏めて集録し、続巻として発刊することとしたもので、前巻と



右から岡本皓監査委員、工藤文夫収入役、荒島保助役、
吉岡清栄市長、岡田秀夫助役、本間茂教育長

先に発刊した市史外伝と併せて滝川市史の集大成とすることとした
ものである。

改めて編集に当たられた諸氏に敬意と謝意を表し、古き滝川発展
の歴史に眼を向けるとともに、滝川二世紀に飛翔の糧とされること
を念じて序文とする。

平成三年一月

滝川市長 吉岡清栄



市議会副議長 川口 松男

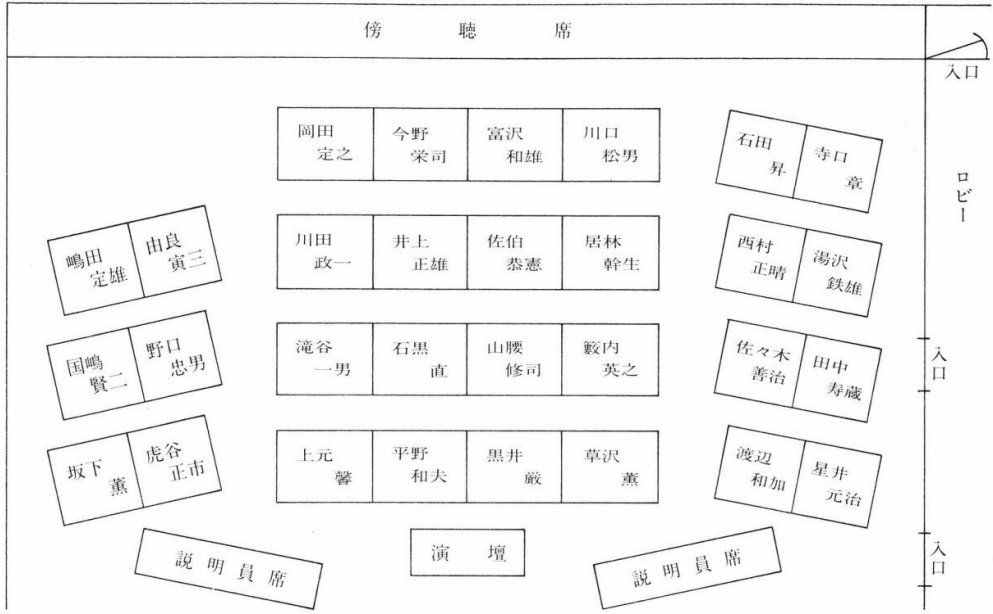


市議会議長 居林 幹生



議場と市議会議員

議場議席配置図





市街地全景

石狩川(左)と空知川(右)の合流地点から

